

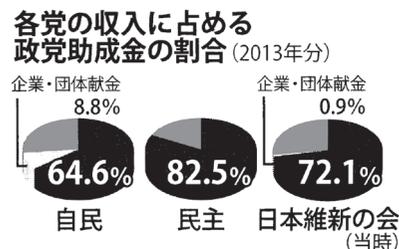
政治
と
カネ

税金・企業だのみが 政党をダメにした 日本共産党

相次ぐ閣僚の辞任、あとを絶たない金権疑惑…。政党の腐敗・墮落の大もとにある「政党助成金」「企業・団体献金」はキッパリ廃止・禁止すべきです。

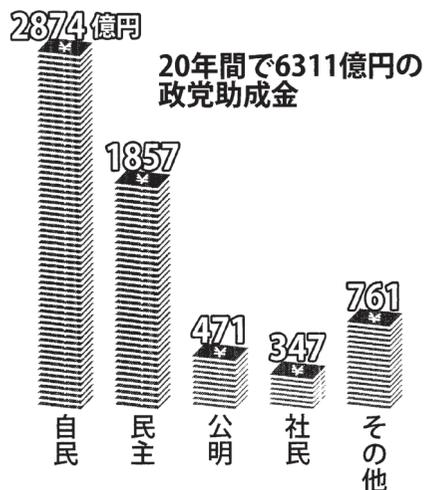
政党助成金 最悪の既得権益

なぜこんなにカネに対する感覚マヒが起こるのか？ その大もとに政党助成金制度があります。国民・有権者から「浄財」を集める努力をせず、320億円もの税金が転がり込む制度が金銭感覚マヒを生み出し、政治腐敗を加速させています。



自民党は党財政の3分の2が政党助成金。まるで「国営政党」です。政党助成金が政党の劣化を招いています。

税金を山分け



企業・団体献金 政治ゆがめる

巨額のカネで政策を買い、政治をゆがめるのが企業・団体献金です。そもそも政党助成金を導入するとき、「企業・団体献金は5年後になくす」

とされていたはずですが、ところが日本共産党をのぞくすべての政党が、右手で政党助成金、左手で企業・団体献金をもらい続けています。

●日本共産党はいっさい受けとりません

政党助成金 約60党が誕生
目当てに 33党が消えた

この20年間、政党の離合集散がおこるのは決まって年末。1月1日の時点で、国会議員を5人そろえれば政党助成金がもらえるからです。“受け取って解散”の“年末政党”も16党に。

安倍首相の任命責任は重大 短期間に3閣僚辞任

西川氏疑惑

幕引きは許されない

西川農水相の辞任は、第2次安倍内閣発足以降、小淵優子経産相、松島みどり法相に続き3件目。わずかな期間に3人とは異例な事態です。



西川氏の「政治とカネ」の問題は、昨年総選挙前から明らかになっていましたが、首相は何らたずことなく農水相に再任。国会での疑惑追及にも「西川氏はきちんと説明している」とかばい続けてきました。

首相は「任命責任は私にある」と言いますが、口先だけ。これまでも閣僚辞任だけで幕引きをはかってきました。国民の政治不信を招いたことへの反省もありません。

首相やじ弁明答弁を訂正

安倍首相は西川氏の任命責任をめぐる衆院予算委での追及に対し、西川氏をかばったうえ、「日教組はどんなんだ」とやじ。「日教組は補助金をもらっている」などと事実無根の主張をしました。

首相はその後、「正確性を欠く発言があった」と訂正しましたが、西川氏の疑惑を真摯に受け止める姿勢はかけらもありません。